

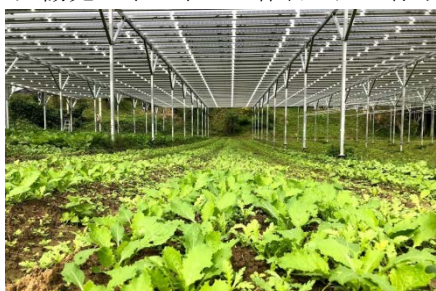
農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

 (6) 一般社団法人への営農型発電事業開始の支援について
農林中央金庫 福島支店（福島県）

新規	継続
○	(年 月)

1 動機(経緯)	<p>農林中央金庫 福島支店は、福島県二本松市の一般社団法人A（以下「当社」という。）が新たに取り組む「営農型発電事業」に対して、設備資金の融資を行いました。</p> <p>「営農型発電事業」とは、農地に支柱を立てて上部の空間に太陽光パネルを設置し、作物の栽培を継続しながら発電をできるようにした発電事業のことです。太陽光を農業生産と発電とで共有することから「ソーラーシェアリング」とも呼ばれており、農村地域における再生可能エネルギー導入の一つのモデルとして、近年注目されています。</p> <p>なお、本件は農林中央金庫 福島支店として営農型発電事業に対する融資の第一号案件となります。</p>
2 概要	<p>当社は、1978年に結成された地域組織を中心に、長年有機農業に取り組んできた団体です。生産した農産物は有機JAS規格品として販売され、消費者との連携・交流活動を続けながら、地域一体となり事業を展開してきました。</p> <p>当社は東日本大震災および原発事故の発生以降、「エネルギーの地産地消」の重要性を痛感したことから、「営農型発電事業」に着目しました。同じ福島県内で再生可能エネルギー事業に取り組むB株式会社の協力を受けながら準備を進め、2018年8月より新たに「営農型発電事業」を開始しました。</p> <p>農林中央金庫 福島支店は、当社の取組みが再生可能エネルギー事業の普及だけでなく、地域農業の発展に寄与するものであると判断し、当社に対して融資を行いました。</p>
3 成果(効果)	<p>今回の「営農型発電事業」では、二本松市内の農地 1,998 m²を活用して太陽光パネルが設置され、その下で主に大豆の生産が行われます。</p> <p>今後、発電された電力は、以前から農産物販売での取引実績のあるB社へ販売され、将来的には売電収入を新規就農者の育成に活用するなど、地域農業のさらなる持続的な発展に向けた計画の支援に繋がる予定です。</p>
4 今後の予定	<p>農林中央金庫 福島支店では、地域農業の振興に向けた取り組み支援を行っていきます。</p>

太陽光パネル下での作物生産の様子



設置された太陽光パネルの様子

